

「伊勢・尾張・美濃国境史～古代から現代まで～」

講師 関ヶ原研究会会員・三重郷土会評議員 石神 教親 氏

岐阜県と三重県の県境は、江戸時代で言えば美濃国と伊勢国の国境でした。今の状態になったのは1883（明治16）年に金廻輪中が、三重県から岐阜県に編入されて以降です。1928（昭和3）年に発見された柚井遺跡（桑名市多度町柚井）の木簡には、「櫻樹郷」という古代の美濃国石津郡の地名が記されています。古代から現代までの国境・県境の変遷を通して地域が歩んだ歴史を紐解きます。



日時	令和8年2月8日（日）14：00～15：30
場所	木曾三川輪中ミュージアム わじゅ〜む （海津市海津町萱野205-1）
受講料	200円（別途入館料が必要）
定員	70名
申込受付	令和8年1月10日（土）9：30～（定員になり次第しめきり）
申込方法	電話または海津市ホームページのメールフォームで お申し込みください



海津市HP

★お申し込み・お問い合わせは・・・ 木曾三川輪中ミュージアム
電話 0584-53-3232